



新入学生への推薦図書

英語文化コミュニケーション学科

推薦教員	書籍名	著者名	出版社名	コメント
Brenda BUSHELL	<i>Environmental Citizenship</i>	Dobson, A. and Derek Bell	The MIT Press, 2006	
	<i>The Sustainability Revolution: Portrait of a paradigm shift</i>	Andres R. Edwards, A.R. and David W. Orr	New Society Publishers, 2005	
	<i>Feminism and Ecology</i>	Mellor, M.	New York University Press, 1997	
	<i>The Deep Ecology Movement</i>	Edited by Drengson, A. and Yuichi Inoue	North Atlantic Books, 1995	
	<i>Small is Beautiful: Economics as if people mattered</i>	Schumacher, E. F.	HarperPerennial, 1973	
	<i>Memories of Silk and Straw</i>	Saga, J. Translated by Garry Evans	Kodansha International, 1987	
濱口 壽子	<i>The Man Who Mistook His Wife for a Hat</i>	Oliver Sacks	Picador	
扶瀬 幹生	TV ディレクターの演出 術: 物事の魅力を引き出 す方法	高橋 弘樹	筑摩書房(ちくま新書 1040)	番組を「手作り」するこ との重要性(楽しさと大 変さ)を実践的に面白く 解説してくれる本。ビデ オ作品に限らず、ひろく プレゼン発表やレポート 制作に取り組む際の基本 姿勢を学べると思いま す。
林 龍次郎	謎解きの英文法 (シリー ズ全9巻)	久野 暉 / 高見 健一	くろしお出版	覚える英文法ではなく、 考える英文法を知るため に役立ちます。9巻のう ち興味のある巻から読む とよいでしょう。
	日本語と外国語	鈴木 孝夫	岩波書店	言語の機能と構造、言葉 と文化との関係について

				て、わかりやすく説明した本です。
	英単語の世界 - 多義語と意味変化から見る	寺澤 盾	中央公論新社	英単語の成り立ち、意味の変化などが解説されており、言語学の基本的な概念にも触れることができます。
	通じない日本語：世代差・地域差からみる言葉の不思議	窪菌 晴夫	平凡社	身近な日本語の例を用いて、音韻論・意味変化・方言などの基本を説明しています。
杉本 淳子	ことばの宇宙への旅立ち	大津 由紀雄(編)	ひつじ書房	6名の言語の専門家が、「言語に興味をもったきっかけ」や「言語学や音声学の研究の面白さ」を、自身の体験や身近な例をとりあげて、説明してくれている本です。
	不思議の国のアリスを英語で読む	別宮 貞徳	ちくま学芸文庫	<i>Alice's Adventures in Wonderland</i> の、英語表現や言葉遊びの面白さをぜひ味わってみてください。
	ジョンブルとアンクルサム：イギリス英語とアメリカ英語	野村 恵造	研究社	イギリス英語とアメリカ英語の特徴や違いについて知りたい人におすすめの本です。 短い40のコラムで構成されています。

日本語日本文学科

推薦教員	書籍名	著者名	出版社名	コメント
日文科全教員	各教科の教科書(殊に、日本史・世界史)			高校で習ったことは、覚えきれなくてもいい、何となくでも、確認をしておいてください。

青島 麻子	知ってる古文の知らない 魅力	鈴木 健一	講談社現代新書	古代から近世までの作品の繋がりを平易な言葉で解き明かしてくれます。古典文学が過去の作品を踏まえて成り立っていることがよく分かります。
	源氏の女君	清水 好子	塙新書	藤壺・紫の上・宇治の女君に着目することで、『源氏物語』の本質に迫ろうとする書です。五十四帖におよぶ『源氏物語』の展開と神髓を押さえることができます。
岩田 一成	外国語に成功する人、しない人 第二言語習得論への招待	白井 恭弘	岩波 書店	第二言語習得研究の成果が非常にコンパクトにまとめられています。習得という視点から、日本語教育がどうあるべきか考えさせられます。
	ふるさとして呼んでもいいですか 6歳で「移民」になった私の物語	ナディ	大月出版	在住外国人が抱える数々のハンデを、力強く乗り切っていく主人公の自伝です。外国人の目線で日本を見ると、改めて気づくことがたくさんありますよ。
	ここからはじまる日本語文法	森山 卓郎	ひつじ書房	人間は自然習得した自分の母語を学ぶチャンスがありません。じっくり体系的に考えてみるとおもしろいですよ。
	地図で見る日本の外国人	石川 義孝	ナカニシヤ出版	日本社会にどんな外国人がおられるのか、意外に私たちは知りません。この地図を見れば発見があるはずです。

小柳 智一	イソップを知っていますか？	阿刀田 高	新潮文庫	アリとキリギリスなどで有名な『イソップ物語』。この本を読むと、知っているようで実は何も知らなかったことがわかります。ちなみに、アリとキリギリスの話は本物の『イソップ』にはありません。
	ちんちん千鳥のなく声は	山口 仲美	講談社学術文庫	昔の人は現代の我々と鳥の声の聞き方が異なります。それを古典文学作品から丹念に洗い出した本です。スズメは昔「しうしう」と鳴きました。
	文章読本さん江	斎藤 美奈子	ちくま文庫	文豪たちの文章指導を読み解き、そこに見られる悲喜交々を探りながら、思いも寄らない視点を浮かび上がらせる名著です。少し難しいものに挑戦しようと思うみなさん江お薦めします。
大塚 美保	博士の愛した数式	小川 洋子	新潮文庫	
	8月の果て 上・下	柳 美里(ユ ミリ)	新潮文庫	日本と韓国、二つの国のはざまに立つ作家・柳美里が、自らの血族の歴史を描いた力作。 作品からさらに視野を広げ、日本と朝鮮半島の近代史についてもぜひ学んでほしいものです。
	大聖堂	レイモンド・カーヴァー (作) 村上 春樹(訳)	中央公論新社	この本の中の「大聖堂」という作品を薦めます。他者に寄り添う、それはどうすることなのか、深い示唆を含む作品です。

清水 由貴子	日本語という外国語	荒川 洋平	講談社現代新書	日本語を外から眺めることではじめて気づく日本語の魅力や個性、面白さを体験できる1冊です。 日本語教員を目指す人はもちろん、そうでない人も楽しめます。
--------	-----------	-------	---------	---

哲学科

推薦教員	書籍名	著者名	出版社名	コメント
上石 学	美学への招待	佐々木 健一	中央公論新社(中公新書1741)	ごく身近かな出来事から問題意識を立ち上げ、学問としての「美学」へと導いてくれる入門書です。
	人はなぜ「美しい」がわかるのか	橋本 治	筑摩書房(ちくま新書377)	美の体験の奥深さを、著者の独特な体験を通じて味わってください。
加藤 和哉	14歳からの哲学 考えるための教科書	池田 晶子	トランスビュー	哲学は結論ではなく、考え続けるプロセスです。著者の考えに頷いたり、反発したりしながら、自分の考えを育ててほしいと思います。
	新・環境倫理学のすすめ	加藤 尚武	丸善ライブラリー	哲学者として長い間現実の問題に向き合ってきた著者の問題提起を受け止めてほしいと思います。簡単な解決策はありませんが、特にエネルギーを大量消費する社会に生きている私たちには考え続ける責任があります(『環境倫理学のすすめ』とは別の本です)。
加藤 好光	自由と規律	池田 潔	岩波新書	イギリスのパブリックスクールにおける教育を紹介した良書。

				エピソードを交えながら、学園生活のなかでいかに「紳士」が形成されていくかが描かれている。
	ヘンリー・ライクロフト の私記	ジョージ・ギッシング	岩波 文庫	遠い親戚の遺産から年金を支給されるようになった貧乏作家が田舎のヴィラに引っ越し、季節の移ろいの中で教養あふれる雑感を綴ってゆく。 「尊厳ある閑暇」への憧憬を培うために。
	『論語』上・下	吉川 幸次郎	朝日新聞社(朝日選書 1001、1002)	東アジア文化圏の古典です。温故知新、座右の書として折に触れて拾い読みをして下さい。
長野 美香	古事記		講談社(学術文庫)他	日本の神話くらい知らないと恥ずかしいので、一度は読んでおくべき。 あけっぴろげでおおらかで、ちょっとエロティック。現代語訳もたくさん出版されているのでつつきやすいが、実は歴史や文学・思想の貴重な資料でもあるという奥深い本。
	注文の多い料理店	宮沢 賢治	新潮社(新潮文庫)他	生前はほとんど誰にも理解されなかった宮沢賢治だが、いまや日本文学の宝のひとつと言ってよいだろう。日々の雑事をちょっと忘れて、ひとりになって賢治の世界にひたすら浸るのも悪くない。

			敬虔な仏教者だった彼にとって「よく生きる」とはどういうことだったのか、考えてみるのもいいだろう
道ありき	三浦 綾子	新潮社(新潮文庫)	三部作になっている三浦綾子の自伝。 特に第一部の「青春編」は、苦悩する若い人には、生きる希望のようなものを教えてくれる。
街道をゆく	司馬 遼太郎	朝日新聞社(朝日文庫)	学生時代は時間があるのだから、旅に出るといい。旅に出るときには、その土地のことを書いた読みやすいエッセーを読んだから出かけていくことをお奨めする。『街道をゆく』は、行く先の土地を好きになるヒントを示してくれる本。
生物と無生物のあいだ	福岡 伸一	講談社(現代新書)	生命に関する科学的な見方を、飽きさせない文章力で読ませる本。 ついでに科学者の熾烈な功名争いのエピソードも盛りだくさんで、そちらもけっこうおもしろい。
高校倫理の教科書			哲学科ではどんなことが勉強できるのか知りたければ、ともかくまずは高校倫理の教科書を一読してみてほしい。 おそらくはだれも通読したことがなく、人によっては高校時代ほとんど一瞥もしなかったという人もいるだろう。

				もちろん教科書は出発点で、哲学の守備範囲はその外に無限大に広がっているのだが、でも出発点を知っておく必要はやはりある。
富原 眞弓	パトロンたちのルネサンス	松本典昭	NHKブックス	「フィレンツェ美術の舞台裏」という副題でわかるように、ルネサンス期の百花繚乱の芸術の大半は、パトロンによる「注文仕事」だったという事実を、あらためて教えてくれる、ちょっと変わった視点からのルネサンス美術史です。
	定義集	アラン	岩波文庫	フランス哲学の伝統である「モラリスト」の系譜につらなるアランの定義集。
		神谷幹夫(訳)		力強い筆跡の手書原稿には、書き直しも書き加えもいっさいありません。
		頭のなかで熟成するままで、じっくりと寝かされて生まれた思考を、味わうようにゆっくりと読んでください。		

山田 庄太郎	なんでもわかるキリスト教大事典	八木谷涼子	朝日新聞出版社、2012年	キリスト教に関する基本的な事柄について分かりやすく解説した本です。「事典」という名称がついていますが、1冊の読み物として楽しく読むことができますと思います。用語の解説もついていますので、初めてキリスト教に触れる人にとってもおすすめの入門書です。
	図解 哲学 人物&用語事典	哲学研究会（編）	日本文芸社、2015年	歴史上の哲学者たちの主要な思想を、イラスト入りで解説しています。年代順に並んでいるので、哲学史の全体像をつかむのにも便利です。本格的に哲学を学び始める前の第一歩に。

史学科

推薦教員	書籍名	著者名	出版社名	コメント
印出 忠夫	自分のなかに歴史をよむ	阿部謹也	ちくま文庫	「眼から鱗が落ちる」ように歴史の見方が変わります
	ことばと国家	田中 克彦	岩波新書	言葉が支配の道具だということを知っていましたか？
	魔女狩り	ジェフリ・スカール、ジョン・カロウ	岩波書店	「魔女裁判」についての歴史的真相がもっとも明快に解説された本
	ローマはなぜ滅んだか	弓削 達	講談社現代新書	塩野七生より面白い・・・かも
	ジャンヌ・ダルクー歴史を生き続ける「聖女」-	高山 一彦	岩波新書	ヨーロッパ中世最大のヒロインの事実と真実
	『ミラノ 霧の風景』 『コルシア書店の仲間たち』など5冊	須賀 敦子	白水Uブックス	深くイタリアを知りたいければ、美しい文章に接したければ、

				聖心が生んだこの作家の本を手にとされよ
	共和国の女たち(自伝が語るフランス近代)	長谷川 イザベル	山川出版社	19世紀から20世紀に生きたフランス女性4人の素顔を伝える
石原 比伊呂	大飢饉、室町社会を襲う！	清水 克行	吉川弘文館（歴史文化ライブラリー）	中世日本社会における一般民衆の実態が、平易かつ鮮明に描き出されています。飢饉が常態化していた中世の民衆の声に耳を傾けてみてください。
	日本史の一級史料	山本 博文	光文社新書	宮本武蔵や忠臣蔵を素材に、時代劇などで描き出されるイメージと、学問的に確定できる実像のギャップがわかりやすく説明してあります。
小泉 徹	オンリー・イエスタデイ	F.L.アレン	筑摩書房	現代アメリカ研究の古典
	食と文化の謎	マーヴィン・ハリス	岩波書店	果たしてほんとなのかとは思いますが・・・
	大砲と帆船 ヨーロッパの世界制覇と技術革新	C.M.チボラ	平凡社	巨視的な歴史学の面白さ。リン・ホワイト『中世の技術と社会変動』（思索社）もどうぞ
	地中海都市周遊	陣内 秀信、福井 憲彦	中央公論社	読んで(見て)いると、行きたくなります
	わが20世紀・面白い時代	エリック・ホブズボーム	三省堂	激動の時代を生き抜いた歴史家の自伝。 あわせて彼の『20世紀の歴史 極端な時代』（三省堂）も読むと興味深い
桑名 映子	自分だけの部屋	ヴァージニア・ウルフ	みすず書房	他にも翻訳あり
	ドイツ史 10講	坂井 榮八郎	岩波新書	
	猫の大虐殺	ロバート・ダーントン	岩波書店	
			同時代ライブラリー他	
夜と霧：		みすず書房		

	ドイツ強制収容所の体験 記録	ヴィクトール・E・フラ ンクル		
	東欧革命と民衆	南塚 信吾(編著)	朝日新聞社 (朝日選書)	
	ウィーン	山之内 克子	講談社	
	ブルジョアの時代から世 紀末へ		現代新書	
佐々木 恵介	忘れられた日本人	宮本 常一	岩波文庫	民俗学者である著者が、 戦後間もない頃の旅のな かで、農山漁村の古老か ら聞き取りを行い、 その地域やそこに住む 人々の歴史を、魅力あふ れる文章でつづった書。 教科書には出てこない、 もう1つの近代日本の姿 がみえてきます。
	最長片道切符の旅	宮脇 俊三	角川文庫	1978年晩秋に、著者が 北海道から鹿児島まで、 1万3千kmあまりを当 時の国鉄で旅した記録。 鉄道マニアのバイブル的 な本ですが、コンビニも ファーストフードもほと んどなかった当時の日本 列島の姿が、 克明に描き出されてい て、紀行文としても見事 です。
山口 昭彦	ハジババの冒険	J.モーリア(岡崎 正孝 他 訳)	平凡社(東洋文庫)	19世紀のイラン社会を 風刺したピカレスク小 説。 当時のイスラム社会を知 る格好の材料。
	アラビアン・ナイト		平凡社(東洋文庫)	
	日本人の中東発見 逆遠 近法の中の比較文化史	杉田 英明	東京大学出版会	遠くへだたった日本と中 東が、実は古代以来の長 い「文化交流」によって

				つながっていたことに気づかせてくれる好著。
	中東から世界が見える イラク戦争から「アラブの春」へ	酒井 啓子	岩波書店(岩波ジュニア新書)	平易な文体で現代の中東が抱えるさまざまな問題を解説した入門書。イスラム社会や国際政治に関心がある人は、必読。
	ペルセポリス I、II	マルジャン・サトラピ	バジリコ	イラン人女性漫画家の描いた、あるイラン人女性の回想録。 イラン革命からイラン＝イラク戦争期のイラン社会が少女の目を通して描かれる。映画化され、DVDも発売されている。

人間関係学科

推薦教員	書籍名	著者名	出版社名	コメント
石井 洋子	人類学のCOMMONSENSE—文化人類学入門	浜本満・浜本まり子	学術図書出版社	文化人類学という学問の基礎が優しく学べる。
	見る、撮る、魅せるアジア・アフリカ!映像人類学の新天地	北村 皆雄(ほか)	新宿書房	異文化での住み込み調査の様子を生き生きと伝える。DVD付き。
	ガダラの豚 1～3	中島 らも	集英社	文化人類学者から知恵を授かり、アフリカを舞台にした抱腹絶倒の小説。
小城 英子	ワークショップ人間関係の心理学	藤本 忠明・東 正訓(編)	ナカニシヤ出版	心理学の中でも、特に人間関係に焦点を置いて書かれたテキストです。 人を好きになる心、他人からの影響、集団の中の自分、集団間のコミュニケーションなど、社会心理学を広く学べる内容になっています。

			心理テストやシミュレーション・ゲームなど、具体的なワークもたくさん盛り込まれていますので、実践しながら学ぶことができます
ワークショップ大学生活の心理学	藤本 忠明・東 正訓(編)	ナカニシヤ出版	<p>「ワークショップ人間関係の心理学」のシリーズで、大学生の日常生活を切り口に、身近なところから心理学を学ぶテキストです。</p> <p>本書は、Ⅲ部構成になっていて、Ⅰ部では学問を学ぶ上で必要となるスタディ・スキルの獲得や学習意欲、Ⅱ部では自分自身の理解やアイデンティティの確立、Ⅲ部では自分を取り巻く人間関係や、大学生活にひそまざまざまなリスクについて書かれています</p>

	不思議現象 なぜ信じるのか ころの科学入門	菊池 聡・谷口 高士・宮元 博章(編著)	北大路書房	<p>UFO や占い、超能力などを総称して「不思議現象」と呼びます。</p> <p>人為を超えた力や現象は、もしかしたら本当に存在するのかもしれませんが、大半は、何でもないことを、不思議現象を信じようとする私たちの心が不思議に見せているだけなのです。</p> <p>本書では、不思議現象を信じる心を、心理学の観点から解き明かしています。心理学の入門書としてもおすすめです</p>
大橋 正明	バングラデシュを知るための 66 章〔第 3 版〕	大橋 正明 他(編著)	明石書店	<p>世界の最貧国と呼ばれていたが、間もなくその汚名を返上する予定のバングラデシュを、64 人の書き手の 66 の多様な視点から平明に解説した入門書。</p> <p>初版が出たのは 14 年前なので、ロングセラーとなっている。</p>
	被抑圧者の教育学－新訳	パウロ・フレイレ(三砂ちづる 訳)	亜紀書房	<p>ブラジルのスラムで著者が実践を通じて築き上げた、一般の「銀行型教育」ではない、自分の暮らしや生活を変えていく「意識化」を目指して言葉の読み書きを獲得する教育学で、ここからエンパワーメントという概念が生まれた。</p>

				70年代後半から世界各地の成人識字教育で取り入れられた。
	SDGsを学ぶ	高柳彰夫・大橋正明(共編著)	法律文化社	アジェンダ2030の中核である「持続可能な開発目標」を、その17のゴールについて、多角的かつ批判的に検証を加えた評判の本です。
大槻 奈巳	大学生のためのキャリアデザイン入門	岩上 真珠・大槻 奈巳(編)	有斐閣	仕事や「就職活動にとどまらず、自分の生き方を考えるきっかけにするための本。大学でどのように学び、人生を設計するかを考えてください。キャリアを考える一助となるワークシートがついています。
	文科省/高校「妊活」教材の嘘	西山 千恵子, 柘植 あづみ(編著)	論創社	2015年8月、文部科学省が、内閣府の協力を得て、高校保健体育の啓発教材『健康な生活を送るために』（平成27年度版）を改訂・発行した。その中で、医学的・科学的知識だとして高校生や若い人に早い出産を奨励するために改ざんされたデータが使用されていた。なぜ、このようなことが起きたのかを社会学者たちが論じている。
菅原 健介	羞恥心はどこへ消えた？	菅原 健介	光文社新書	
藤原 勇	思考の整理学	外山 滋比古	ちくま文庫	科学的な研究に必要な論理的思考を学ぶための入門書として最適な本。レポートや卒業論文など、人に読ませる文章を考え

				る力を身につけたい方にもおすすめ。
	入社1年目の教科書	岩瀬 大輔	ダイヤモンド社	社会人としての準備のためだけでなく、大学生活の中でも必要な行動指針を学べる一冊。
	感覚マーケティング	A・クリシュナ (著) 平木いくみ・石井裕明・ 外川拓 (訳)	有斐閣	消費者の感覚を刺激すると、気づかぬうちに購買心理や行動が左右される。近年注目の感覚マーケティングを扱った本。

国際交流学科

推薦教員	書籍名	著者名	出版社名	コメント
久保田 知敏	本と中国と日本人と	高島 俊男	筑摩書房	中国に関係する図書の案内。著者は週刊文春のコラム「お言葉ですが」で知られる中国文学研究者。
	北朝鮮に消えた友と私の物語	萩原 遼	文春文庫	戦後日本の趨勢を決定した朝鮮戦争から現在の北朝鮮問題まで、朝鮮問題と深く関わってきた著者が、自らの体験を軸に、同時代を生きた一人の人間として書き記した自叙伝的な解説書。
	放送禁止歌	森 達也	光文社(知恵の森文庫)	日本マスメディアの体質を知るために絶好の読み物。 将来マスコミ等言論の場で活躍したい人にはお薦めの一冊。
	訓詁学講義 中国古典文献の読み方(中国古典文献学・基礎編 1)	倪 其心(著) 橋本 秀美、 鈴木 かおり(訳)	アルヒーフ/すずさわ書店	中国古典研究のための本格的入門書。
	校勘学講義 中国古典文献の読み方(中国古典文献学・基礎編 2)	洪 誠(著) 橋本 秀美、森 賀 一恵(訳)	アルヒーフ/すずさわ書店	

	父が子に語る日本史	小島 毅	トランスビュー	♪闘う君の歌を～闘わな い奴らが笑うだろう、冷 たい水の中を～ふるえな がらのぼってゆけ。
	台湾の政治	若林 正文	東京大学出版会	味岡先生ご推薦の『台湾 —変容し躊躇するアイデ ンティティ』を読んで、 もっと台湾のことが知り たくなった人はこの専門 書に挑戦。
小川 早百合	私は三年間老人だった 明日の自分のためにでき ること	パット・ムーア	朝日出版社(2005)(変装— 私は3年間老人だった 朝日出版社 1988)	26歳の女性が老人に変 装して体験した3年間の 記録。 人はいかに外見で判断さ れているかを知るには絶 好の本です。
	クアトロ・ラガッツィ (上・下)—天正少年使節 と世界帝国	若桑 みどり	集英社文庫	天正少年使節の運命を描 いた歴史小説。
	自分のなかに歴史をよむ	阿部 謹也	ちくま文庫	ヨーロッパとは何か、ヨ ーロッパと日本の違いが 何かを知りたい人にお薦 めします。
岡橋 純子	大人になるためのリベラ ルアーツ	石井 洋二郎, 藤垣 裕子	東京大学出版会	
	女の一生 (一部、二部)	遠藤 周作	新潮文庫	
	風土—人間学的考察	和辻 哲郎	岩波文庫	
	古寺巡礼	和辻 哲郎	岩波文庫	
	イタリア紀行 (上、中、 下)	ゲーテ	岩波文庫	
	ハワイ紀行 完全版	池澤 夏樹	新潮文庫	
	<i>Portrait of a Turkish Family</i>	Orga, Irfan	Eland Publishing (new edition), 2002	
	<i>Ancient Futures - Learning from Ladakh</i>	Noberg-Hodge, Helena	Sierra Club Books, 1991	
	<i>Why the West Rules - For Now</i>	Morris, Ian	Farrar Straus and Giroux, 2010	

	せかいいちうつくしいぼくの村 (絵本)	小林 豊	ポプラ社	
奥切 恵	<i>From the Japanese</i>	Paul Rossiter	Isobar Press, 2013	
	<i>World Without</i>	Paul Rossiter	Isobar Press, 2015	
	20 ステップで学ぶ 日本人だからこそできる英語プレゼンテーション	藤尾 美佐	DHC	

心理学科

推薦教員	書籍名	著者名	出版社名	コメント
川上 清文	子どもとことば	岡本 夏木	岩波新書	日本語で読める、最良の発達心理学入門書だと思います。
	幼児教育を考える	藤永 保	岩波新書	なぜ狼に育てられた子などという話が変か、というような話から発達心理学の中核に迫っています。
岸本 健	バッタを倒しにアフリカへ	前野 ウルド 浩太郎	光文社新書	単身アフリカに乗り込むバッタ研究者のフィールドワーク譚。「世界一受けたい授業」にも出演の異色研究者による冒険と希望の実話。ぐいぐいと読ませます。
	仕掛学－人を動かすアイデアのつくり方	松村 真宏	東洋経済新報社	「あ、この仕掛け作った人、天才だわ」どのページを見てもため息が出ます。バスケットゴールをゴミ箱の上につけたら、誰だってゴミを丸めてシュートしたくなりますよね。でも、仕掛を「科学の学問としての仕掛学」に昇華させるのが作者の本当のすごいところ。読み始めたらずまらない仕掛けだらけの本。

神前 裕子	人口の心理学へー少子高齢社会の命と心ー	柏木 恵子・高橋 恵子 (編)	ちとせプレス	
	素足の心理療法ー始まりの本ー	霜山 徳爾	みすず書房	
向井 隆代	いつもそばにいるから	バーバラ・パーク (ないとう ふみこ 訳)	求龍堂	アメリカの児童向けの図書 The graduation of Jake Moon の日本語訳です。アルツハイマーを発症した祖父の介護を手伝う小学校高学年の男の子の物語。訳本もいいですが、高学年以上向けなので英語も読みやすいです。
	メディア・バイアス	松永 和紀	光文社新書	メディアによって私たちに伝えられる科学情報の歪みや限界を指摘する書。論理的思考、分析的視点を日常生活に活かし、自主的に判断する意義を伝えてくれます。
永井 淳一	山びこ学校	無着 成恭(編)	岩波文庫(青)	学ぶとは、先生から新しい知識を教わるだけではないということがよく分かります。大学では特にそうです。
	君たちはどう生きるか	吉野 源三郎	岩波文庫(青)	他者とのかかわりの中で、いかに良く生きていくかを考える、一つのきっかけになる読み物であると思います。
佐々木 正宏	キーワードで学ぶカウンセリング	澤田 瑞也・吉田 圭吾 (編)	世界思想社	受容、傾聴、対決といったキーワードを通じ、カウンセリングとは何かが見えるように丁寧に述べられています。

	性格形成と変化の心理学	鈴木 乙史	ブレーン出版	人間の性格・パーソナリティがどのようにして形成され、どのように変化していくのかを包括的に述べた好著です。
	開かれた小さな扉	アクスライン, V. M.	日本エディタースクール出版部	重い情緒障害のあった男児が、アクスラインと出会い遊戯療法の中で交流することにより回復していくプロセスが見事に描かれています。 (出版社で品切れ状態ですが、読みやすい名著で、各所の図書館には入っていると思います。)
柴田 玲子	小さな贈り物	村瀬 嘉代子	創元社	著者が会った人々とのふれあいをつづったエッセイですが、臨床に必要な感性が伝わってくる作品です。
	臨床心理学と<生きる>ということ	村瀬 孝雄・村瀬 嘉代子(編)	日本評論社	臨床心理学って何と思われの方に、いろいろな分野の心理臨床がわかるように編集されています。
	それでも人生にイエスと言う	V.E.フランクフル 山田 邦夫・松田 美香(訳)	春秋社	強制収容所のことを書いた『夜と霧(1977 新版池田香代子訳がおすすめ)』の著者フランクフルの講演をまとめたもので、人間はこれほどポジティブに考えることができるのか、もしも夜と霧を読まれないならばこの衝撃的な作品も読んでみてください。

高橋 雅延	心理学ってどんなもの	海保 博之	岩波書店(岩波ジュニア新書 427)	心理学について何も知らない人向けに書かれた書物で、心理学の素朴な疑問、研究方法、有用性、学び方について知ることができます。
	愛に生きる	鈴木 鎮一	講談社(講談社現代新書 86)	鈴木メソッドとして知られるバイオリンの才能教育について著者の実践をもとに書かれたもので、教育について深く考えさせられます。

教育学科 教育学専攻・初等教育学専攻

推薦教員	書籍名	著者名	出版社名	コメント
河邊 貴子	日本人のしつけは衰退したか	広田 照幸	講談社	
	幼児教育へのいざない	佐伯 胖	東京大学出版	
	子どもごころ	河邊 貴子	春秋社	
	センス・オブ・ワンダー	レーチェル・カーソン	新潮社	
	育ての心 上・下	倉橋 惣三	フレーベル館	
木下 ひさし	浦上の旅人たち	今西 祐行	岩波少年文庫	長崎浦上天主堂。この地で信仰を守った人々の明治から昭和に至る旅の物語。
	社会の真実の見つけかた	堤 未果	岩波ジュニア新書	メディア情報を鵜呑みにしてはいけない。では、どうやって読み解くのか。
	先生はえらい	内田 樹	ちくまプリマー新書	先生はえらい。理屈抜きにえらい。 目から鱗の内田教育論。
	瓦礫の中から言葉を	辺見 庸	NHK 出版新書	東日本大震災とは何であったのか。忘れてはならないための言葉たち。

西原 直枝	夜は暗くはいけないか —暗さの文化論	乾 正雄	朝日選書	人間らしい思考や生活に適した光・視環境について論じた書。
	快適服の時代	斉藤 秀子, 呑山 委佐子	おうふう出版	「地球環境問題」や「快適」、「健康」をキーワードとし、人間－衣服－環境の関係の科学的知見をわかりやすくまとめている。
	食といのち	辰巳 芳子	文藝春秋	食べることといのちの関わりをテーマに、料理研究家の辰巳芳子氏が、生物学者、看護師、小児科医、倫理学者など多様な専門家を相手に対談した記録である。
水島 尚喜	ヒトはなぜ絵を描くのか	中原 佑介(編著)	フィルムアート社	「人はなぜ絵を描くのだろうか?」という疑問に、学際的にアプローチする本書は、「美術・図工」という教科の必要性を考えることにも役立つ。
杉原 真晃	「教養」とは何か	阿部 謹也	講談社	文字通り、「教養」とは何かを問う著書。大学生になり、「教養」を身につけていくにあたり、参考になる。
	教育の職業的意義—若者、学校、社会をつなぐ	本田 由紀	筑摩書房	「職業」という観点から学校教育の在り方を考えさせられる著書。
	教育と平等—大衆教育社会はいかに生成したか	苅谷 剛彦	中央公論新社	戦後の学校教育における「平等」のとらえられ方を知り、教育の在り方を再考するに適した著書。
	「いじめ」の構造	渡部 昇一, 土居 健郎	PHP 研究所	現代的な「いじめ」の特徴を分析した著書。

			教育やケアのあり方を問い直す機会をもたらす著書。
	里山資本主義 日本経済は「安心の原理」で動く	藻谷 浩介, NHK 広島取材班	角川書店 グローバル化が進む資本主義経済社会の抱える課題を克服する、新たな生き方・経済のあり方を発見できる著書。
	社会的ひきこもり—終わらない思春期	斎藤 環	PHP 研究所 (PHP 新書) 「ひきこもり」が単なる個人的な問題ではなく、社会的システムとしての問題であることが理解でき、ひきこもりに対する考え方が変容する著書。
	友だち地獄—「空気を読む」世代のサバイバル	土井 隆義	筑摩書房 友だちと仲良くし続けるために「空気を読む」ことに神経を使いすぎ、疲弊していく若者の様相を分析した著書。
	貧困の克服—アジア発展の鍵は何か	アマルティア・セン	集英社 貧困という問題に向かうための社会のあり方を問う著書。ノーベル経済学賞受賞者のセン氏の入門書。
永田 佳之	現代社会の理論	見田 宗介	岩波新書 環境問題や南北問題、情報化社会などを読み解くセンスを磨く恰好の一冊。 同著者による『社会学入門』もお薦め。
	「聴く」ことの力：臨床哲学試論	鷺田 清一	TBS プリタニカ 人は聴くことによって深い所で相手を支え、聴くことによって自分自身も変る。著者のこうした声と植田正治による写真とのコラボが見事な作品。
	医は国境を越えて	中村 哲	石風社 国際協力とは何か。

				アフガニスタンの地で井戸を掘り続ける日本人医師の奮闘記であり、「相互扶助の世紀」への希望の書。
	コミュニティを問いなおす	広井 良典	ちくま新書	新しい時代の教育を構想するには、環境と福祉という視座は欠かせない。現代のコミュニティの問題を根幹から問い直し、地球倫理の可能性も示した大佛次郎論壇賞受賞作品。
植田 誠治	人間この未知なるもの	アレキシス・カレル	三笠書房	人間とは何か、ノーベル賞を受けた科学者が、科学を越えた先にある人間の不思議さをおしえてくれる書。 1935年に書かれたものであるが、まったく古さを感じさせない。
	いのちの文化人類学	波平 恵美子	新潮選書	さまざまな文化における生命観を比較しながら、いのちについて考える。また、それを通して尊厳死、臓器移植などといった今日のゆらぐ生命観を幅広い視点で考察できる書。
	こころの旅	神谷 美恵子	みずず書房	ひとの生涯を、こころの発達を中心にいていねいたどる。 新しい資料として収録された育児日記にみられる生き生きとした記述内容と方法も参考になる書。

	健康不安社会を生きる	飯島 裕一(編著)	岩波新書	現代の健康ブームをいろいろな視点から検討しながら、健康とは何かを問い直している。 識者へのインタビュー形式で書かれていて、読みやすい入門の書。
	科学者という仕事 - 独創性はどのように生まれるか	酒井 邦嘉	中公新書	科学者たちの仕事や言葉を通して、科学とは何か、知とは何かを考えさせてくれる。できれば大学入学前に、少なくとも新入生の間に読んでおくとよいと思われる入門書。
	臨床の知とは何か	中村 雄二郎	岩波新書	近代の科学、近代の知への問題提起とともに、現実的課題解決のためのヒントを与えてくれる。
	オフサイドはなぜ反則か	中村 敏雄	平凡社ライブラリー	「オフサイド」というフットボールの反則、そのルール誕生の背景には、イングランドの歴史や心性が深くかかわっている。知的好奇心を満たすことの楽しさを味あわせてくれる。
小山裕樹	『メノン』	プラトン著 藤沢令夫訳	岩波文庫、1994年	
	『啓蒙とは何か／他四篇』	カント著 篠田英雄訳	岩波文庫、1974年	
	『大学とは何か』	吉見俊哉	岩波新書、2011年	
	『サヨナラ、学校化社会』	上野千鶴子	ちくま文庫、2017年	
	『下流志向：学ばない子どもたち、働かない若者たち』	内田樹	講談社文庫、2009年	

	『ヒューマニティーズ：教育学』	広田照幸	岩波書店、2009年	
	『「宿命」を生きる若者たち：格差と教育をつなぐもの』	土井隆義	岩波ブックレット、2019年	
	『つながりを煽られる子どもたち：ネット依存といじめ問題を考える』	土井隆義	岩波ブックレット、2014年	
澤野 由紀子	古代への情熱—シュリーマン自伝	ハインリヒ シュリーマン(著), H. Schliemann(原著), 村田 数之亮(翻訳)	岩波書店、1976年	幼い頃に読んだ本のなかの一枚の挿絵からトロイア遺跡発掘を夢見て、実現に向けて様々な努力をした19世紀ドイツの実業家の伝記です。 夢の実現のために、12カ国語をどんどん習得していくシュリーマンの外国語の学び方にも注目してみてください
	コルチャック先生	近藤 康子(著)	岩波ジュニア新書、岩波書店、1995年	ユダヤ系ポーランド人の小児科医で児童文学者、教育者でもあったヤヌシュ・コルチャックの伝記。子どもの権利にもとづく理想を持ち続け、ナチス・ドイツ統治下のワルシャワのゲットーで孤児院を経営。コルチャックの思想は「子どもの権利条約」にも反映されています。
	窓ぎわのトットちゃん	黒柳 徹子(著)	講談社文庫、講談社、1984年	著者が実際に通っていたトモ工学園のユニークな教育実践から、現代の学校教育の抱える問題について考えてみましょう。

益川 弘如	人はいかに学ぶか	稲垣佳世子・波多野誼余 夫	中公新書、1989年	
	「学び」を問い続けて-授 業改革の原点-	佐伯胖	小学館、2003年	
	「わかり方」の探求-思索 と行動の原点-	佐伯胖	小学館、2004年	